

# 令和3年度第1回師団統裁バトラ戦闘訓練 ～連隊の威信をかけて、普通科中隊が本気の激突～

第3師団（師団長 山根陸将）は、令和3年4月1日（木）から15日（木）までの間、青野ヶ原演習場（兵庫県）において、令和3年度第1回師団統裁バトラ戦闘訓練を実施した。

バトラとは、交戦訓練装置（Battle Training Apparatus）の略称でレーザー光線等により実弾を使用することなく実際の交戦訓練ができる機材のことであり、本訓練ではこの装置を活用し、実際に近い環境下において、中隊対抗方式で行った。訓練開始式において統裁官は、訓練部隊に対して「How to fight（戦い方）」の検証にとどまらず、「How to win（勝ち方）」を貪欲に追求せよと述べた上で「全力を出し切って戦え」「結果を次に繋げよ」等を要望した。科等の配属を受けた各普通科中隊は、攻撃側及び防御側に分かれ、それぞれが考え抜いた勝ち方を向うに示し、本気で戦い、部隊の戦闘能力・諸職種協同能力を向上させることができた。中部方面総監（野澤陸将）による訓練状況の視察を受けた。中隊長の一人は、「相手の行動をリアルに見積ることが、非常に重要であると認識できた。また、勝利の追求により隊員の団結及び規律心が育成され、戦いたがら中隊が強くなるという実感を得た」と所見を語った。次回師団統裁バトラ訓練は、来年2月に実施する予定である。



訓練開始式 師団長訓示（第37普通科連隊）



バトラ受領 視準校正（第36普通科連隊）



中部方面総監（野澤陸将）訓練視察



師団長への課題報告（第7普通科連隊）



防御準備 陣地の構築（第7普通科連隊）



中隊長による現地確認・指導（第36普通科連隊）



実員による戦闘予行（夜間）（第37普通科連隊）



砲迫バトラ運営（第3特科隊）



道路障害作業車による障害の構成（第3施設大隊）



直接警戒中の74式戦車（第3戦車大隊）